



## 私の夢

遼寧省・阜新蒙古族自治県蒙古族高級中学 高2（男）

呉 猛

私は中学校一年生から日本語を勉強し始めました。今まで、もう4年です。日本語の勉強はとてもおもしろいです。そして、日本語を勉強する事を通じて、日本の文化と歴史も知ることができます。それで、私は翻訳者になりたいです。

小学校の時、私は英語を学びました。でも、成績はずっとよくないです。そして、小学校の時、ただ英語だけ勉強できます。ほかの語種がありません。とても困っていました。中学校に入ると、日本語も勉強できます。私は日本語を選びました。初めの時、日本語の勉強は本当に難しそうな感じでした。あきらめたかったです。でも、中学の日本語の先生は「よく努力さえすれば、鉄の棒も針になることができる」と私を励ましてくれました。その後、私は一生懸命に日本語を勉強しました。成績も上がりました。それで、深く日本語を愛しています。高校でも日本語を勉強することにしました。

高校一年生の時、私の学校は「特徴高校」に選出されました。教育部の専門家が来て、私の学校を見学しました。そして、日本語の生徒と座談会を開きました。その時、私たち日本語を習っている三人とも座談会に出ました。専門家に会う時、私はとてもきんちょうしています。二年生もいます。二年生の日本語がとても上手です。専門家は日本語で「みなさん、何か歌を歌いませんか」とおっしゃいました。わたしたち一年生は何も話せません。この時、二年生のある生徒は「先生、私はモンゴル語の歌を歌うことができます」と言いました。それから、大きな声で歌を歌いました。専門家は「美しい声ですね」と褒めてくれました。その後、また日本語でいろいろな質問をしました。二年生の先輩はみんな日本語でまじめに答えました。私たちは聞いてから、先輩たちのことをとても感心しました。その時から、私は将来翻訳者になりたいという夢を持ってきました。

また、日本の技術はとても先進的であります。でも、言語が分からなかったら、

先進的な技術が習えなくなります。私は翻訳者になったら、日本の先進的な技術の文章や本や新聞などを翻訳します。こうすれば中国人がこれらの技術を学習できるようになります。そして、私は日本の文化、歴史にも興味があります。中国には「本を読むために、まず字がよく分かったら」という話があります。日本の文化と歴史をよく分かりたいなら、日本語がとても上手であるべきです。日本語が上手だったら、日本の文化と歴史を研究することができます。実に、翻訳者の職能はたくさんあります。例えば、日本の本を中国語に翻訳します。中国の本を日本語に翻訳します。中国の文化と風俗習慣を日本に伝えます。日本の礼儀などを中国に伝えます。国際の会議は翻訳者もいます。各国の間で交流することができます。それで、翻訳者も忙しいです。将来は、私は翻訳者になった時、生活はきっと充実しているでしょうね。夢を実現するための第一歩は努力して勉強することです。

今、私は二年生です。毎日の勉強はとても忙しいです。でも、私の夢のために、私は怠けないです。北京外国語大学に入りたいです。私はきっと努力して勉強します。早く夢を実現します。